

私が店主となったら

香川県・香川県立観音寺第一高等学校 1年 藤村 春陽

私の家は、祖父の代から和菓子屋を営んでいる。現在は、祖父の代からある商品に加え新たな商品を開発しながら父が店主として経営している。私の住む町は昔からの習わしが多く残り、親戚はもちろん近所や地域住民同士のつながりが深い地域であるため、店の商品は葬儀や法事の御供えや地域の行事に使われることが多く、お店に来るお客さんは昔からなじみのある地元の方ばかりだった。祖父はよく「うちの店は地域密着型だから、地元のお客さんを大事にしないかん。」と父に話していた。しかし、近年では大型スーパーや葬儀場などの増加により我が家のような小さな店は今まで通りの販売方法では経営が成り立たなくなってきた。そこで父は、葬儀場やサービスエリアなどの新しい取引先を得ることに積極的に動いた。また、お店に足を運んでもらえるように地域のフリーペーパーを利用した。父の作るお菓子は少しずつ評判になり、お客さんが地元以外からも来てくれるようになった。当時の売り上げの割合は、小売りが約40%、卸売りが約60%だった。

しかし、近年スーパーや、コンビニエンスストアなどで気軽にお菓子が手に入るようになった。そのうえ、一昨年冬から日本国内での新型コロナウイルスの感染が確認されるようになった。当初は、都市部での感染拡大が主でどこか他人事のように、店への影響もなかった。しかし、感染拡大は止まることなく、私の住む香川県でも新型コロナウイルスの感染が確認されるようになった。これらの影響を受け軌道に乗り始めていた経営がうまくいかなくなってきた。高齢者や県外からの来客数、葬儀場やサービスエリアの注文が減少し、これまで売り上げの中心だった卸売りに頼れなくなった。

日がたつにつれ、他の飲食店ではテイクアウトに力を入れ始めていた。父の店ではテイクアウト商品がほとんどであったため、この流れに対応できると考えた。それでも、売り上げはあまり増えない。父は、その原因の一つとして宣伝がうまくいっていないことだと考えた。そこで私は、以前から行っていたインスタグ

ラムを改善し写真映えを狙いながら商品の宣伝を行うことを提案した。父は、若い人の意見を聞きながら、カラフルなお菓子やその時々には流行っているお菓子の開発を始めた。これによって、若い世代のお客さんが増加した。総務省によると、インターネットは10代から30代「情報源としての重要度」においてテレビ、新聞、雑誌をおさえ最も高くなっている。全世代で見ると77.3%が重要だと回答しており、平日の全年代のインターネット平均利用時間がテレビを超えて最も長い¹⁾。これらのことから、宣伝方法を工夫して、今の時代に適した宣伝を行うことが重要だと感じた。また、以前より利用していた地域のフリーペーパーでも良い影響があり、幅広い年代にまで広がっていった。

宣伝の結果、客数が増加しただけでなく、客幅も広がり、県外からのお客さんも増加した。インターネットなどを利用した情報発信は、コロナ禍でもお店を続けることができただけでなく、コロナ後にも継続的に行うことで集客に良い影響が得られると考えられた。

このような集客のための工夫や販売方法の改善より売り上げの約70%を小売りが占めるようになり、卸売りは約30%となった。

新型コロナウイルスによる問題を乗り越えてきたところ、物価の上昇による問題が起こった。私は、このニュースを知り原材料の価格が上昇するのではないかと不安に思った。調べてみると、小麦粉においては1kgあたり約12円(4.4%)上昇すると農林水産省が報告しており、お店で売っているものの多くに小麦粉が使われているため心配になった²⁾。父に聞くと、小麦粉だけでなく、包材や電気代などの価格も上昇しており、お店の商品の価格や大きさの見直しが必要になってきていると聞いた。

ここから、商品の価格の見直しや経済について勉強することや、日本経済のニュースに関心を持つことの大切さを学んだ。

私は、我が家で起こったこれらの問題から、お店を経営するにあたって大切なことを多く学んだ。もし私が店主になった時には三つのことに気を付けたいと考えた。一つ目は、その時に合わせた工夫をして昔からの良さを大切にしながら、現代に合った方法を取り入れていくことだ。宣伝方法として主にSNSを活用して情報発信していきたいと考える。二つ目は、お客さんについて知ることだ。どのようなものが流行し、どのようなものを求めているのか知ることによって、お

客さんに喜ばれる商品を届けることができるといえる。三つ目に経済について知識を得ることだ。自分の店の経営について考えながら、日本の経済の状況についても関心を向けて情報収集し、売る側も買う側も満足する商品を届けられるように商品の開発を行っていくことも必要だと考えた。

今までは父のお店が困っていることには気が付いていたが、具体的にどうしたら改善されるかを考えたことはなかった。これからは身近で起きている様々な問題に目を向け、自分の得意な情報収集力を生かしながら成長していきたい。

(注)

- 1) 総務省情報通信政策研究所「令和2年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」
URL https://www.soumu.go.jp/main_content/000765258.pdf
閲覧日 2022年8月29日
- 2) 農林水産省農産局農産政策部貿易業務課「令和4年4月期の小麦の政府売渡価格について」
URL https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/mugi_zyukyuu/pdf/teisei_sankou.pdf
閲覧日 2022年8月29日

